

大牟田市まちなか活性化プラン 令和6年度の主な事業

わかもの会議 全体会議・勉強会

全体会議（全9回開催）

4月20日
「地元愛が高じてフェスを開催した大学生登場」

7月20日
「まちづくりで大事なことは」

8月24日
「わたしにもできる！“まちづくりの始め方”」

9月18日
「若者会議九州大会に向けて①」

10月26日
「今までと、これからと、ギュッと話そう」

12月14日
「若者会議九州大会に向けて②」

1月20日
「若者会議九州大会に向けて③」

3月15日
「卒業式」

3月19日
「来年度に向けて」



まちづくり勉強会（全4回開催）

5月22日
「まちと人、人と人を繋ぐファシリテーション」

6月19日
「若者によるコミュニティとまちづくり」

8月7日
「女性とまちづくり」

11月20日
「わかもの会議代表の有馬さんって何者！？」



わかもの会議プロジェクト

～マルミュータ～

大牟田市をまるごとテーマパークに見立て、
まちなかに賑わいを作ろう！というテーマのもと、子ども向け
イベントを3回開催しました。



ファジーなフェス
(9.14開催)大牟田駅西口



ワールドフェス
(11.3開催)大牟田駅



マルミュータワールド
(3.18~19開催)ゆめタウン

わかもの会議プロジェクト

～Re-Life～

空き家・空き店舗のDIYをきっかけに「まちなか再生」を目指す。古町にある元旅館「古里荘」を再生する取り組みを行いました。

(DIY作業風景)



～みんなのえきまえプロジェクト～

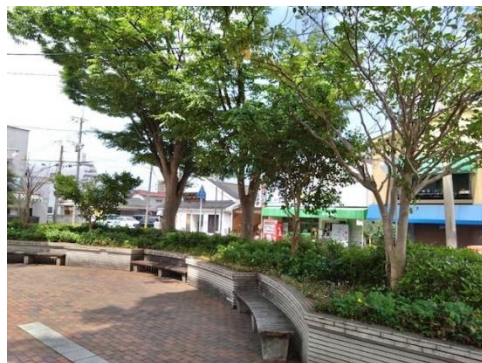
西口に賑わいが生まれるなか、ごみのポイ捨てやイタズラという問題も生まれた。

みんなが利用する駅前を綺麗に整えることで、ポイ捨てやイタズラをしにくい環境づくりに取り組みました。

(剪定・清掃作業風景)



Before



After

わかもの会議プロジェクト

～若者会議九州大会～

若者が活躍する他団体との交流と若者の熱い想いを届けることを目的として九州で活動する団体に声をかけ、活動報告会を開催。

【参加団体】

- ・ながさき若者会議
- ・ちくわ若者会議(筑紫野エリア)

【ゲスト】

- ・たかはし くうが氏(鹿児島)



～その他の活動(一部紹介)～

大牟田わかもの会議が少しずつ認知され始め、外部からの取材やイベント参加依頼もありました。



わかモール会議
「大川市政70周年大会」出場



FMたんと
「がまだしもん倶楽部」出演



福岡県事業
「県知事いきいきトーク」取材



福岡県事業
「こどもまんなか社会」取材



ぎゃんすき！あらおちゃん
アラオお花見ピクニック参加



オームタ☆イルミネーレ2024
きらきら応援団

おおむたまちなか新聞

号数 (発行月)	表面(まちなか店主)	裏面(まちなか情報)
第29号 (R6.4)	「Refresh&Smile リフレイル」:託児所 戸澤 明子さん	「まちなか再生未来ビジョン」提言式など
第30号 (R6.6)	「ねごろ屋」:うどん店 根来 周作さん	「まちなか再生未来ビジョン」など
第31号 (R6.8)	「nearly≡equal(ニアリーイコール)」:美容室 鋤崎 恵美さん	まち、いこ！Gyanフェス2024など
第32号 (R6.10)	「&MAYDINER(アンドメイダイナー)」:ハンバーガー店 原田 さつきさん	オームタ★イルミネーレ2024など
第33号 (R6.11)	「肉やらかんやら」:肉卸売り点 猿渡 隆也さん	まちゼミ、街なかさわやかフェスタなど
第34号 (R7.2)	「すし処 こば」:寿司店 古場 俊昭さん	若者会議九州大会など



おおむた宵酔いチケット

クーポン券発行部数:1,500部(完売) ※販売対象を来訪者(市外居住者)に限定
販売実績:3,000,000円 利用実績:4,439,500円

旅トク!

大牟田市外居住者限定

**OMUTA
YOI
YOI
TICKET**
おおむた 宵酔いチケット

3,000円分の
飲食・宿泊・タクシー等に
使えるチケットを
2,000円で販売

販売・使用
期 2024.
4月27日(土)～7月31日(木)

大牟田

発行
おおむた宵酔いチケット事務局
(一社) 大牟田観光協会
TEL:0944-52-2212

◆大牟田観光プラザ
(大牟田市本館火曜1-144-4)
9:30～18:00
休/月曜
(祝日の場合は翌平日)

販売場所
販売時間

レストラン お食事処 バー・スナック		居酒屋 カフェ・その他	
宿泊施設 タクシー		その他	

まちなか再生未来ビジョン

● 背景

居住者等の減少や空き家等の低未利用地が発生するなど活力が低下する一方、鉄道駅や市役所、金融機関など多様な都市機能・インフラが集積し、人が集まるポテンシャルがあるまちなかエリアについて、ハード・ソフト両面から、まちなか再生でまち全体の価値を高める取組を行う。

● エリアプラットフォーム

居心地がよく訪れたくなる歩きたくなる魅力的なまちなか空間の形成及びそれを実現するための未来ビジョンの策定を目的に組成。

(構成)

学識経験者、交通事業者、金融機関、独立行政法人、警察など25団体

座 長: 出口 敦(東京大学副学長)

● 未来ビジョン策定

令和6年3月に「大牟田まちなか再生未来ビジョン」が策定され、4月には市、商工会議所、市議会へ提言されました。



● リーディングプロジェクト

未来ビジョンには、6つのリーディングプロジェクトプロジェクトが掲げられています。

①大牟田駅周辺エリアの機能再編と顔づくり

- 都市インフラの再編(駅前広場再編、道路空間の見直し)
- 市庁舎周辺のエリア再編、連鎖的建替え
- 市民憩いの広場の整備(防災、避難広場)

②空き家・空地を活用したまちづくり

- まちなか居住・創業等による新たな機能の導入
- 空き家のリノベーション促進
- 空地の活用(緑化、コミュニティ広場の拡大)

③新栄町駅を中心とした健康・福祉と賑わいのまちづくり

- 法定再開発事業の推進
- 関係機関(大学や医療機関等)と連携した健康・福祉の取り組み
- 大牟田川まで続く憩いと賑わいの場づくり

④災害に強いレジリエントなまちづくり

- 防災イベント等の開催
- 老朽危険家屋の除去推進
- 防災公園の整備

⑤人の力が光るイノベティブな場づくり

- 学生アイデアコンペの開催
- 若者チャレンジの場づくり
(ビジネスサポートセンター等との連携)

⑥多様なプレイヤーが関わるプラットフォームづくり

- 公・民・学連携組織(UDC)の設置
- プロジェクトの実践・プロデュース
- 取組みの情報発信と外部ネットワークの拡大
- 市民のまちづくり参加の仕掛けづくり

アーバンデザインセンターおおむた

● 設 立

令和6年11月26日、未来ビジョンを実現するために、事業推進組織(一社)アーバンデザインセンターおおむたを設立しました。

まちなか活性化に向けた様々な事業に公・民・学が連携して取組んでいきます。



● 組 織

一般社団法人 **アーバンデザインセンターおおむた** (UDC)

未来ビジョン推進に向けた公・民・学による連携組織。

- ・課題解決型＝未来創造型まちづくりのための**公・民・学**連携のプラットフォーム
- ・行政都市計画や市民まちづくりの枠組みを超え、地域に係る各主体が連携し、都市デザインの専門家が客観的立場から携わる**新たな形のまちづくり組織や拠点**
- ・行政主導型・住民主導型・企業主導型といった**従来の枠組みを超えた試みに挑戦**

【ミッション】

- ①さまざまなステークホルダーを繋ぎ、価値あるものにする(調整)
- ②その価値を魅力的に発信していく(情報発信) / ③外部からの投資を引き寄せる(投資誘致)

【理事会】

糸永代表理事(商工会議所) / 正木副理事長(有明高専) / 奥園副理事長(商工会議所)
副枝副理事長(大牟田市) / 三原理事(帝京大学) / 松永監事(信用金庫)

【事務局】

正木センター長(有明高専) / 菅原副センター長(大牟田市政策監)
後藤統括ディレクター(リージョンワークス) / スタッフ 大牟田市、商工会議所 他

【正会員】 ※略称 25社

大牟田瓦斯 / 有明ねっとこむ / 西鉄 / 中島物産 / 大牟田柳川信用金庫 / 福岡銀行
信号電材 / 川口自動車 / オギハラ食品 / 九電工 / 西日本シティ銀行 / 三井化学
鉄万 / 清水塗装 / 祐徳近海汽船 / 壽海運 / 大福商事 / 沖電気工業 / 三井三池製作所
デンカ株式会社 / 三井金属鉱業 / 今村組 / Matsuo Sangyo
大牟田商工会議所 / 大牟田市

【賛助会員】 5社

大和システム / シティアスコム / コトブキ / ヒューマンコミットメントセンター / 田辺工業

【商工会議所】

会頭 / 専務 / 事務局長
地域振興課

【大牟田市】

市長 / 副市長
まちなか活性化推進室
まちなか再生・活性化総合政策検討委員会

アーバンデザインセンターおおむた

令和7年度事業計画



イノベーション創出促進

大牟田市が目指す3つのまちづくりの中の
「若者が夢をもって働くまちづくり」を進めるため、
イノベーション創出促進事業 を令和3年度より展開

大牟田市イノベーション創出拠点 aurea
令和4年10月20日オープン

市の中心部に位置する旧商工会館を再生し、
イノベーション創出事業の核となる施設を整備



コワーキングスペース



会議室



イベントスペースでは、さまざまなテーマ
の講演会や研修会、イベントを実施



カフェは一般利用のほか、ビジネス交流
会等にも利用されています

3つのまちづくりで生み出す好循環



aurea入居企業、有明高専等と連携し、蓄音機、レコード
の視聴やDTM体験講座など、小中学生等向けにデジタル技
術に身近に触れるイベントを定期的の実施



「OMUTAデジチャレ」（令和6年12月14日・12月22日）
市内IT企業によるeスポーツ等を活用したデジタル人材育成。
中高生、社会人含め延べ29人が参加。

【カリキュラム内容】

- ①サーキットデザイン（半導体・集積回路設計）
- ②AI・プログラミング・データサイエンス
- ③3Dモデリング
- ④メタバース

イノベーション推進協議会 ビジネス交流会

第3回

ビジネス交流会

in aurea

2025.1.16木 16:00 Start 参加者募集

登壇者とともに考え、議論することができるビジネストークイベントの第3回は、Matsuo Sangyoグループ株式会社代表取締役の渋谷さんと、株式会社ティアコム総務部長兼大牟田ラボ統括責任者の後藤さんを招き、それぞれのフィールドで新たな取り組みをどのように進められたのか、その中で困難や苦労、解決への施策などリアルな話を伺います。企業が持続的に成長していくためには新たなチャレンジが必要不可欠！みなさんも一緒に熱く語ってみませんか？

1 トークセッション

16:00～17:00

渋谷 翔一郎さん

Matsuo Sangyoグループ株式会社代表取締役

2014年和歌山県産業株式会社に入社、2016年同代表取締役社長に就任。7期連続の赤字であった状態を、戦略的なコスト削減と、組織の業務改善により脱赤字を達成。2018年、2017年社長を和歌山県知事賞に受賞し、歴史的な改革を遂げた。2020年事業再編の決断、2021年新製品・新サービスのローンチを行い、経営改善、売上増、利益増と全指標向上に成功。現在も経営改善を継続中。

後藤 秀隆さん

株式会社ティアコム総務部長兼大牟田ラボ統括責任者

1991年西日本シティ銀行に入社。支店長も経験したが、最終目標は、業務効率化、機軸会運営等の本職経験が長い。2022年10月よりティアコムに転職。ICTを活用して、企業がうまく経営できるように支援する会社である。日々見ようという意識（システム）のため、会社名を立の活用してもらうため、新築ビルでの立ち上げなど、地味な広報の責任者として日々精力的に活動。FP1級、経営支援アドバイザーの資格も活かして、地域経済の活性化に貢献したい。

2 グループセッション

17:00～18:00 (予定)

第2部は、登壇者も交えて数人のグループをつくり、第1部の振り返りや参加者が目覚めていることなどを気軽に語り合える場です。経営者や管理職の皆さんはもちろん、若手社員の方や学生さんまで広く参加をお待ちしています！

お申込みフォーム▶ <https://logoform.jp/R/4zGBH>

締切：2025年1月9日(木)

会場：大牟田市イノベーション創出拠点 **aurea**

1階 イベントスペース 大牟田有明町1丁目1-22

※参加費は無料です。お申し込み後、お申し込みの都合によりキャンセル料がかかります。

主催・お問合せ：大牟田市イノベーション推進協議会事務局（大牟田市産業振興課・大牟田商工会議所）
TEL 0944-41-2752 メール e-kigyounicchi01@city.omuta-fukuoka.jp



産学官金の団体からなる大牟田市イノベーション推進協議会では、地域企業の交流を目的としたビジネス交流会を開催しています。

アウレア入居企業との連携

アウレアの入居企業では、地域の状況やニーズを把握し、大牟田市をはじめ、地域企業とも連携しながら、DXを活用した地域課題解決に向けたさまざまな取組みを進められています。

【これまでに実施した実証実験】

- ・ センサーによる水田や畑の水分量等を管理するシステムに係る実証実験
- ・ 道路や公園、ため池等の維持・管理に係るシステムの実証実験
- ・ イノシシ罾の餌の有無を通知するセンサーの管理システムに係る実証実験
- ・ 三池港における文化財の火災予防対策等を目的とした光ファイバーセンサーを用いた実証実験
- ・ 自動運転バスを公道で走行させる実証実験 など



自動運転バス実証実験

大牟田市ビジネスサポートセンター

令和6年4月、中小企業が抱える様々な課題に対して、大牟田市、大牟田市地域活性化センター、大牟田商工会議所、大牟田柳川信用金庫、有明工業高等専門学校、大牟田未来共創センターが連携し、相談・支援を行うワンストップ産業支援窓口「大牟田市ビジネスサポートセンター」を開設しました。

経営改善、生産性向上、事業承継、販路開拓、新規創業、IT・DXなどの課題について、各種支援機関とも連携し、継続的に支援をしていきます。

01

ワンストップで
さまざまな
課題に対応

02

専門的な課題は
外部機関と
連携して対応

03

課題の解決まで
一貫して
丁寧に支援

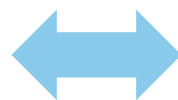


イノベーション創出拠点aurea1階に開設

支 援 体 制

- ・センター長（産業支援コーディネーター）
- ・産学連携コーディネーター
- ・DXアドバイザー
- ・大牟田柳川信用金庫 職員
- ・大牟田商工会議所 職員
- ・大牟田市 職員

連 携



連 携 支 援 機 関

- ・福岡県工業技術センター
- ・公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団
- ・公益財団法人福岡県中小企業振興センター
- ・福岡県中小企業生産性向上支援センター
- ・福岡県事業承継・引継ぎ支援センター
- ・福岡県プロフェッショナル人材センター
- ・中小企業基盤整備機構
- ・福岡県信用保証協会 など

平日 9:00～17:00（土・日・祝日・年末年始休）

相談無料、1回60分程度

※時間外の相談を希望される場合はご相談ください



公式HP

大牟田市ビジネスサポートセンター

～主な取組～

●相談対応

相談対応件数	主な相談内容
212件	生産性向上、事業承継、販路開拓、技術支援、補助金活用 等



知的財産の基礎セミナーの様子

●セミナー・イベント等

内 容	連携支援機関	参加者数
「外部人材活用セミナー」(7月)	福岡県プロフェッショナル人材センター	8事業者 13名参加 個別相談1事業所
「販路開拓大牟田ウィーク」 (7/29～8/2)	福岡県中小企業振興センター	15事業所
「生産性向上セミナー」(8月)	福岡県中小企業生産性向上支援センター	9事業者 14名参加 個別相談1事業所
「事業承継セミナー」(10月)	福岡県事業承継・引継ぎ支援センター	19事業者 36名参加 個別相談7事業所
「知的財産の基礎」(11月)	INPIT 福岡県知財総合支援窓口	12事業者 18名参加 個別相談なし
「工業技術センターのトリセツ」(1月)	福岡県工業技術センター	11事業者20名参加 個別相談会5事業所

大牟田市ビジネスサポートセンター

～実績～

■外部専門人材活用

外部人材活用セミナー、個別相談会を契機として、プロフェッショナル人材センターを通し、各人材派遣会社を通じて専門人材のマッチングを実施したところ、副業人材の採用が決定。

■販路拡大

- ・販路開拓ウィークを契機として、市外企業と市内企業のマッチングが成立。
- ・B to C取引で売上げが伸び悩んでいる相談に対し、県中小企業振興センターが運営する通販サイト「よかもん広場」を紹介し、ネット販売実施。

■補助金申請支援

厚労省の働き方改革推進支援助成金について申請書の作成についてアドバイスし、採択につながった。

■事業承継

事業承継セミナー等を通じ、相談された案件9件中、7件について事業承継・引継ぎ支援センターにつなげた。(親族、第三者、従業員承継それぞれで相談)